



武道の世界から見ますと、コンピューターというものは、まったく異次元の世界と思われるでしょうが、私はそのコンピューターソフトの関連ビジネスで仕事をしています。そういう環境に身を置いていると、かえって武道の世界に魅力を感じるのです。

塩田館長先生に、この業界のセミナーに講演をお願いしたのは全部で三回ありましたが、その最初は、私がある全国組織の理事長をしていた経営者セミナーでした。

勿論、館長先生はコンピューターのことなど「なにも知らんぞ」などと言っておられましたが、私の説明には熱心に耳を傾けておいででした。

セミナーは静岡県熱海のホテルで開催されたのですが、その前夜、台風が関東地方に襲来し大風雨となってしまいました。

窓ガラスに額をくっつけて海を眺めると、大きな波のうねりが次から次へと海岸に押し寄せており、この分だと明日は来られないかと、私はひとり熱海のホテルで気をもんでいたのです。

ところがその私の気持ちを見透かすように、内弟子の安藤師範(現「龍」代表)を通じて、わざわざホテルまで電話をかけてくださったのです。

「明日は必ず行くから心配ないように...」

私は感激してしまいました。あの電話一本に館長先生のやさしさと、人の心を読み取る凄さがあると思いました。

講演の最初は、聴講者のみなさん、この小柄な人が合気道の達人だなんて信じられないという顔つきで聴いていたのですが、それよりも話し方とその内容が面白いので、徐々に引き込まれてしまいました。

私が講演者用に予め準備しておいた、壇上のビールをグイと喉に流し込むと、先生は突然傍らに置物のように控えていた安藤師範を手招きしました。

手招きされた安藤師範はすぐに背広を脱ぐと、ワイシャツネクタイ姿でいきなり手刀で横面を打ち込んでいった。

館長先生はそのタイミングに手刀を合わせると安藤師範は両足を宙に上げてドッと床に落ちた。どんと落ちた瞬間には弾むゴムまりのように受身をとって立ち上がったが、館長先生はもう背を向けて講演席に戻ってしまいました。

見ていた皆はびっくりこいてしまい、すっかり度肝を抜かれてしまいました。講演は大成功で、私のコンピューター仲間はすっかり館長先生の魅力にとりつかれてしまいました。

講演後の食事会の時には、皆が館長先生の周りに集まってきてしまい、私のはらはらするような不躰な質問をします。それに応えてビールを飲んだり、ご飯を食べたりするものですから、おかずはテーブルの上にひっくり返すは、ご飯つぶは膝の上にこぼすはでもうたいへんで、それを安藤師範と私とで両側から拾い上げたり、テーブルを拭いたりで大忙しだったのです。

世の中には、こんなに天真爛漫な人がいるのだなあと、しみじみと思いました。